

①学習課題（中学校2年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「枕草子」(P28～31)を読んで、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。(2回継続)

<取り組み方>

- ① 「枕草子」第一段（教科書 P28・29 の上段）を繰り返し音読してみよう。
 - ・10 回程度音読し、すらすら読めるようにしてみよう。
 - ・すらすら読めるようになったら、一度、家の人に聞いてもらうのもよいかもしれません。
- ② 現代語訳を手がかりに、わからない言葉の意味を確認してみよう。
 - ・あけぼの…明け方、やうやう…だんだんと、あかりて…明るくなって など、どの言葉がどのような意味なのか確認してみよう。
- ③ 作者が挙げている四季それぞれの好きな時間帯とその理由の中から、共感できた（自分もそう思う）ことや、なるほどと思ったことなど、特に印象に残った点について、理由を添えて書き出してみよう。そして、それを家の人に伝えてみよう。
 - ・例) 春の明け方について、紫がかった雲が細くたなびいているのは風情があるという点について、私も春に朝早く起きた時に、窓の外を見て、きれいだなと思うことがあるので、共感できた。また、「雲が細くたなびいている」というところに着目して表現した点がすごいと思った。
- ④ 「枕草子」第百四十五段・第二百十六段(教科書 P30 の上段)を繰り返し音読してみよう。
 - ・10 回程度音読し、すらすら読めるようにしてみよう。
 - ・すらすら読めるようになったら、一度、家の人に聞いてもらうのもよいかもしれません。
- ⑤ 現代語訳を手がかりに、わからない言葉の意味を確認してみよう。
 - ・うつくしきもの ・いとうつくし ・うちかたぶきて ・いと明かきに
- ⑥ それぞれの段で、作者がいいと感じているものを挙げてみよう。そのうち、自分が共感できるものや、なるほどと思ったのはどれだろうか。理由とともに説明してみよう。

※①～⑥に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。（①～③、④～⑥に分けて記録してもかまいません。）

※③について、家の人に伝えることが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。